

2022年度 和歌山市立新南小学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 嶋田弘人

作成日

2022年 5月10日

和歌山市学校教育指針

- ・確かな学力の育成
- ・道徳教育の充実
- ・健やかな体の育成
- ・特別支援教育の充実
- ・不登校・いじめ問題の解消
- ・子供の安全確保の徹底
- ・地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい。
- 明るく楽しい学校にしてほしい。
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい。
- 地域に愛着を持ってほしい。

【学 校 教 育 目 標】

豊かな心を持ち、主体的に生きる
子どもを育成する

【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・やさしい子ども
- ・たくましい子ども

前年度の学校評価

- 6年生が学校生活がよくなったと思うようお願いしたい。
 - 先生方には継続して授業力向上に取り組んでほしい。
 - いじめは起こるものという認識のもと、取り組むことは大切なことである。
- などなど

児童（生徒）の実態

- 真面目に学習に取り組み、落ち着いて生活できている。
- 知的な好奇心旺盛で、好きな子供が多い。
- 行事や体験活動にも意欲を見せる。
- 自ら考え行動する自主性にやや欠ける。
- 家庭学習の定着度に個人差が見られる。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎基本の確実な定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 読書活動の推進
- 家庭学習の充実

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止・早期発見
- 互いのよさを認め合う仲間作りと集団活動の推進

健やかな体の育成

- ◎体力向上の取組の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 外遊びや運動に親しむことの奨励

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携推進
- ◎情報の積極的な発信
- 地域資源の積極的活用の推進

具体的な取組

- ・学習規律・学習習慣の定着を図る。
- ・音読の力をつけるため、学校や家庭で音読練習を積み重ねる。
- ・漢字・語彙の力をつけるため、ドリル学習を行い、漢字博士検定や校内俳句コンクールを実施する。
- ・書く力をつけるため、作文の基礎を身につけ、書く機会を多くする。
- ・読書タイム等で読書指導を行う。
- ・各学級担任が研究授業を行い、教員個々の授業力向上につなげる。

- ・道徳や人権の授業の工夫改善に努め、道徳性を培い、人権意識の向上に努める。
- ・いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめの未然防止・早期対応に努める。
- ・好ましい人間関係を築きながら、自己肯定感を高めたり、安心して学習に取り組めたりできる学級づくりを行う。また、集団活動等で子供同士が関わる機会を増やす。

- ・体育科の授業の充実を図り、縄跳びカード等の上達カードを活用することで運動への意欲を高め、体力の向上に努める。
- ・登校時の体調カードの提出など感染予防に継続して取り組む。
- ・外遊びを奨励し、鬼ごっこや一輪車等運動に親しむ機会を大切に、運動用具・器具等の環境整備に努める。

- ・学校通信等のHP掲載のほか、懇談会等あらゆる機会を通して積極的に子供や学校・学級の様子を発信する。
- ・子供達が地域に出たり、地域の方と触れ合ったりする機会を通して、地域への愛着を育む。

指標

- ・県学習到達度調査で正答率が県平均を上回る。
- ・児童アンケート項目「毎日の勉強がわかる」で肯定的回答80%以上

- ・児童アンケート項目「学校が楽しい」で肯定的回答90%以上
- ・いじめの解消率が100%になるよう努める。

- ・児童アンケート項目「休み時間に外でよく遊ぶ」で肯定的回答80%以上

- ・保護者アンケート項目「学校の様子をわかりやすく伝えている」で肯定的回答80%以上
- ・児童アンケート項目「気持ちのいいあいさつができる」で肯定的回答80%以上

◎：特に重点的に取り組むこと